

お知らせ

資料配布日時 令和6年1月18日14:00

■同時発表先：鳥取県政記者会、島根県政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

農林水産物・食品の輸出促進に向けた輸送実験を行います ～冷凍品・冷蔵品の小口混載輸送実験 境港から香港へ～

現在、農林水産物・食品の輸出について、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とすることを目指し、政府をあげて農林水産物・食品輸出促進に取り組んでいます。

中国地方整備局においても、中国四国農政局等の関係機関と連携し、中国地域の農林水産物・食品の輸出を促進しています。

一方、重要港湾「境港」の現状をみると、山陰地域で生産された農林水産物・食品は、神戸港等まで陸上輸送した後、他地域の貨物と一緒に海外へ輸出されるケースが多く、近隣の境港を活用できていない実態があります。

トラック運送業界の2024年問題への対応も踏まえ、この非効率な輸送の状況を解消し、更には、山陰地域で生産された農林水産物・食品を生産地に近い境港からの利用を促進し生産者の競争力を高めるために、今般、小口の冷凍・冷蔵品を一つのコンテナ（リーファーコンテナ）に混載して輸送する実験を行います。

この度、下記のとおり報道関係者向けの見学会を実施しますのでお知らせします。

記

公開日時：令和6年1月23日(火) 10:00～11:00

開催場所：(株)上組 大阪支店境港出張所（鳥取県境港市竹内団地76）

公開内容：試験輸送の概要説明

リーファーコンテナへの農林水産物・食品の積込作業の見学

集合時間・場所：開始時刻の20分前までに別紙2

(株)上組 大阪支店境港出張所にお越しく下さい

※1 取材を希望される方は、令和6年1月22日(月)16時までに（別紙3）取材申込書へ必要事項を記入のうえ、FAXで境港湾・空港整備事務所担当者までご連絡願います。

【添付資料】

- ・補足資料（別紙1）、会場案内（別紙2）、取材申込書（別紙3）
- ・試験概要（別紙4および参考資料）

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所

TEL：0859-42-3147 FAX:0859-47-0010

企画調整課長 安藤 和也（あんどう かずや）

企画調整係長 盛山 豊（せいやま ゆたか）

【境港湾・空港整備事務所 ホームページ】

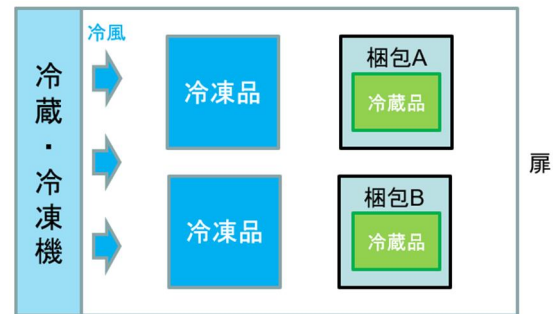
<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/sakai/>



補足資料

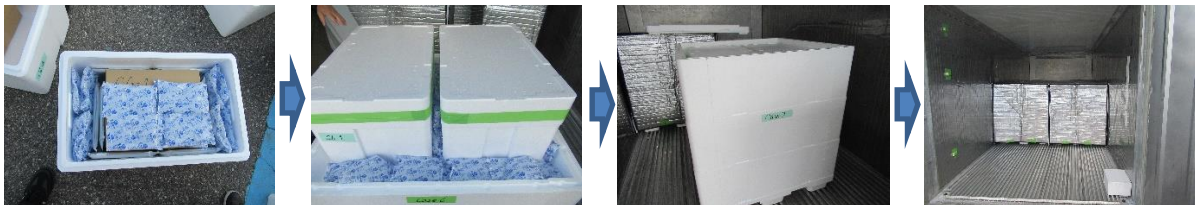
■品目

- ◆冷凍品
 - ・水産品、水産加工品、菓子 等
- ◆冷蔵品
 - ・青果、日本酒、調味料 等



■主な仕様

- ◆冷凍・冷蔵コンテナ（リーファーコンテナ）
 - ・サイズ 20 フィート ・設定温度 -20°C
- ◆冷蔵品梱包
 - 2タイプ（段ボール、発泡スチロール、アルミ加工カバー、保冷剤を下記温度帯にあわせて梱包）
 - ・ [温度帯 $0^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$ 程度] （梱包 A）
 - ・ [温度帯 $5^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$ 程度] （梱包 B）



冷蔵品梱包から冷凍コンテナへ積み込みの様子（温度帯に応じて保冷剤の量を調整）

◆記録計

- ・ データロガーを各ポイントに設置し、衝撃、温度、湿度の推移を計測

■主な工程 *1月18日時点の予定

- ◆通関・梱包作業〈1/19(金)～〉
- ◆コンテナへの積み込み〈1/23(火)〉
- ◆輸送（境港～香港）
 - ・ [陸上] (株)上組〈1/23(火)〉～境港CT〈1/23(火)〉
 - ・ [海上] 境港〈1/24(水)〉～香港〈2/6(火)〉

◆通関手続き（香港市内） *以降日程未定

◆輸送

- ・ [陸上] 香港CT※（香港市内）～倉庫（香港市内）
- ・ [陸上] 倉庫～商店（香港市内）

◆品質確認

■協力

中国四国農政局/境港管理組合/境港貿易振興会/境港商工会議所/公益財団法人鳥取県産業振興機構/(株)上組大阪支店境港出張所/NX 境港海陸(株)/オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド日本支社/井本商運(株)/

会場案内 ((株)上組 大阪支店境港出張所)



《出所_地理院地図 (電子国土 Web)》

取材申込書

1. 報道機関名

2. 取材者

① 氏 名(代表者) :

連絡先 :

② 氏 名 :

③ 氏 名 :

車両番号 :

3. 送付先

境港湾・空港整備事務所 安藤・盛山 宛

TEL : 0859-42-3147 **FAX:0859-47-0010**

- 1) 取材を希望される場合は、本紙により必ず事前申込みをお願いします。
- 2) 荒天その他の事情により延期・中止する場合は、事前申し込みいただいた担当者様あてに電話にてご連絡します。

※ 申込書に記載の個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に則り、厳正な管理により取り扱います。

<試験輸送の目的>

リーファーコンテナを使用した冷凍品と冷蔵品の混載輸送を行い以下のについて検証する。

- 境港から利用拡大が期待される新たな輸送ルートのリードタイム
- コールドチェーンの維持
- 輸送品の品質確保

<輸送品目>

鳥取県・島根県で生産される農林水産物・食品

冷凍品：水産品、水産加工品、菓子等

冷蔵品：青果、日本酒、調味料等

<輸送相手国・地域>

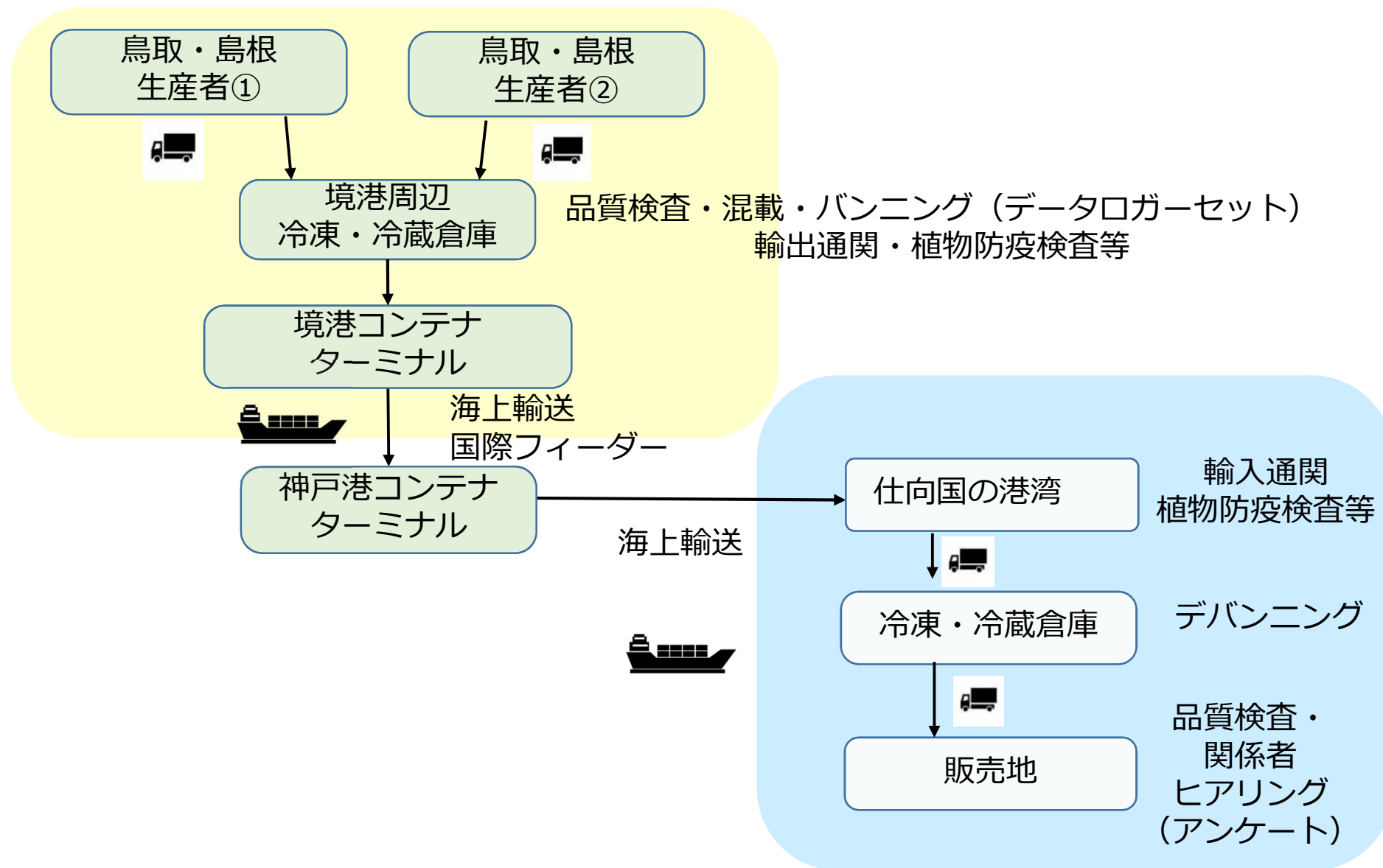
中国、香港、米国、台湾、東南アジアの国々等、市場として期待されている国・地域から、今回の輸送実験では 香港 に向けた輸送を行う。

<輸送ルート>

境港へ寄港する国際フィーダー航路を活用した神戸港経由の輸送ルートを利用する。



境港から香港までの海上輸送経路



輸送実験の背景

- 政府は2030年の農林水産物・食品に輸出額を5兆円とする目標の達成に向け、港湾を通じた農林水産物・食品の輸出をこれまで以上に促進することとしている【参考資料1】
- 鳥取県と島根県の両県に位置する重要港湾「境港」は、山陰地域の海上物流拠点・国際交流拠点の役割を担っている。
- しかしながら、農水産物の輸出に関しては、地域の主力産業である水産物のほか、山陰地域で生産される農林水産物・食品の多くが神戸港等へのトラック陸送されており、近隣の境港が利用されていない状況にある。 境港の利用促進のための課題は以下が考えられる。

境港発輸出促進のための課題

- 課題① 小口ユーザーへの対応(1コンテナを満たすことができない)
- 課題② リーフアーコンテナの年間を通じた安定調達
- 課題③ 積み替え輸送期間中のコールドチェーンの確認(品質確保)



課題解決のため、更にはトラック運送業界の2024年問題への対応も踏まえつつ、境港からの海上輸送を促進する農林水産物・食品のリーフアーコンテナの混載輸送実験を実施する。

実験の目的 リーフアーコンテナを用いた違う温度帯の混載輸送による輸送時の品質確認

産地と港湾が連携した農林水産物・食品の更なる輸出促進

【参考資料1】

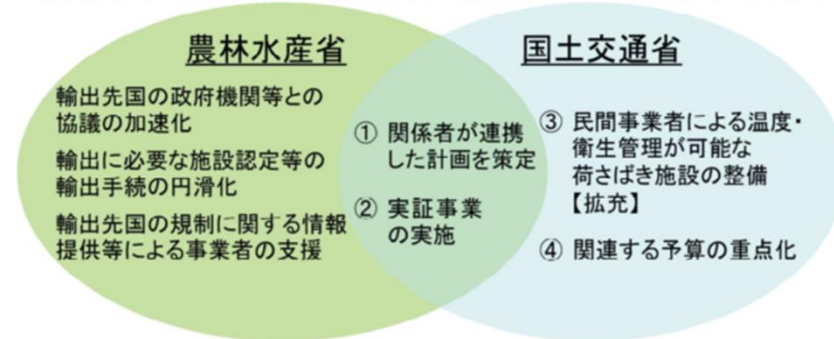
○政府は2030年の農林水産物・食品に輸出額を5兆円とする目標の達成に向け、港湾を通じた農林水産物・食品の輸出をこれまで以上に促進するために、生産者や港湾関係者が連携して策定する実施計画に対し、農林水産省および国土交通省が共同して認定した場合、施設整備に係る支援の拡充や、関連する予算の重点化を行うこととしている。

＜農林水産物・食品の輸出額の推移と輸出手段別割合＞



出典：農林水産省資料、貿易統計に基づき国土交通省港湾局作成

＜農林水産省の取組と国土交通省が連携して推進する取組＞



＜具体の取組イメージ＞



コールドチェーンの確保など、輸出の川上から川下までの連携を強化